

## 過去には鹿児島県が全国ワースト1 後を絶たない農作業中の死亡事故

今年に入って県内の農作業死亡事故数は7件（5月23日現在）で、前年の同じ頃と比べると増加傾向となっています。過去の発生件数をみると、比較的件数の少なかった平成27年が9件、平成26年には20件で鹿児島県が全国ワースト1位となったこともあります。

農業従事者の高齢化や農業機械の大型化が進む中、農作業事故が後を絶たない状況です。

5月末現在、本町での死亡事故は発生していませんが、これから農繁期を迎える農家の皆さんにとっては特に注意が必要です。

農作業事故は農繁期に多発することから、県は4月1日から6月30日までを「春の農作業事故ゼロ運動」の実施期間と定め、農作業事故の未然防止を広く呼びかけています。

平成26年に発生した農業機械による死亡事故の機種別発生割合の主なもの、乗用トラクタ43%、歩行用トラクタ20%、農用運搬車14%でした。

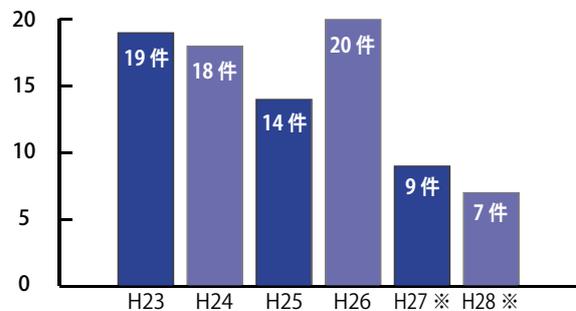
最も発生が多かった乗用トラクタは、79%が転落転倒によるもので、そのうち、安全キャブやフレームのないものが7割、それ以外はシートベルトの未着用となっています。

事故が起きやすいのは、狭い道での通行、ほ場ぎりぎりでの旋回、雑草が生い茂った路肩、早朝や夕方の薄暗い時間帯の作業などでした。

県内で実施したアンケートでは、年を重ね経験を積むほど慣れが生じ、とくに50代以降には農作業中に危険性を感じなくなる傾向がみられます。農業現場の「普通」は、他の産業からみると危険な状態である場合が多くなっています。

これから農業機械を扱うときは、周囲の安全確認を行い、事故を起こさないよう気をつけましょう。

県内の農作業死亡事故件数



※平成27、28年は速報値

◎問い合わせ先

役場農林課農政係 ☎ (88) 5670 [直通]



### 認知症カフェに遊びに来ませんか？

「きやんせカフェ」は、認知症の人やそれを支えるご家族にくつろいでいただくための場所です。

認知症に関する不安の相談など、同じ悩みを持つ人との集いの場としてご利用いただけます。

○対象

認知症の人、ご家族、認知症について興味のある人

○場所

荘記念病院敷地内 デイケア「らいむ」

○時間

毎月第1土曜日 午前10時～12時  
(受付は9時30分から)

○料金

一人200円（お茶代）



※3日前までに事前予約が必要です。

○申込・問い合わせ先

医療法人互舎会 荘記念病院 認知症カフェ担当  
☎ (82) 3113

長島町地域包括支援センター ☎ (86) 1153 [直通]